

環境保全に向けた取り組みを推進し、
持続可能な社会と、豊かで居心地の良い街づくりを目指します



取締役 常務執行役員
(環境管理責任者)

南 佳孝

京王バスグループで導入
した燃料電池バス

京王グループは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」に基づき、環境にやさしい企業集団を目指し、職場ごとに環境目標を定め、達成に向けたPDCAサイクルを着実に回し続けるとともに、社員一人一人の環境意識の向上に継続的に取り組んでいます。

鉄道事業部門においては、列車走行時の消費電力を大幅に抑制する制御装置の全営業車両への導入を、大手私鉄に先駆けて2012年に完了しましたが、さらに削減効果に優れた制御装置への更新に、現在取り組んでいます。また、京王グループのバス事業では、CO₂や環境負荷物質の排出を抑制することで地球温暖化防止に貢献でき、走行音も静かな燃料電池バスを新たに導入しました。

開発事業部門では、サステナブルで環境にやさしいリ

ノベーションの手法を活用した既存建物の再生、照明のLED化やCO₂排出量の削減など、環境負荷低減に資する取り組みを推進したほか、再生可能エネルギーの活用として、岩手県宮古市で取り組んできた太陽光発電事業の施設が竣工し、2019年11月に事業をスタートしました。

そのほか、京王プラザホテルチェーンでの紙製ストローの導入や、連泊のお客様を対象としたエコステイの実施、沿線の自然環境の保全に向けた活動などにも取り組んでいます。

今後もグループ一体となって環境保全に向けた取り組みを推進し、持続的発展が可能な社会の実現と豊かで居心地の良い街づくりを目指してまいります。

京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

生物多様性行動指針

私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。